

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '保育所入退所事務' and '子育て支援及び少子化対策'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on childcare support and administrative procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (26-30) and rows for ①手段, ②対象, and ③意図. Includes metrics like '入所延児童数' and '待機児童数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫, 県支, 地方債, etc.) and personnel costs (人件費) for 27 and 28 fiscal years.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, categorized by items like 'O1 報酬'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for implementation content for 28, 29, and 30 fiscal years, detailing childcare support activities.

事務事業名	保育所入退所事務	事務事業No.	20201000450	所属課	児童福祉課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ・S23年 真壁保育園認可・S22年 児童福祉法により自治体が保育所を設置するようになった・S23年 岩瀬保育所認可・S39年 岩瀬東部保育所認可・S40年 岩瀬北部保育所認可・S55年 やまと保育所認可・H20年6月 星の宮幼保園認可・H21年4月 ひなの里保育園認可。H28年度からは公立3認定こども園、私立1認定こども園、私立2保育園が開園している・保護者の勤務先、家庭の事情により在住市外の保育園を希望する者が増えている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 家族形態の変化、核家族化の増加に伴い育休明けによる0・1・2歳児といった低年齢児の入所希望者、勤務先の近くの保育園等への入所希望者が増加している。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・子育ての支援体制の充実という市の政策体系の中で最低限必要な事務事業である。 ・保育の実施により保護者が安心して就労できる環境の一環をなしており、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童福祉法第24条及び子ども・子育て支援法 の定めるところにより、保護者の労働又は疾病その他の事由により、その監護すべき乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合において、市町村は保育しなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 入所に必要な添付書類として、就労証明や保育料の算出基礎となる資料の提出を求めているが、確定申告などがなされていない等事務の遅延を招くことがある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・保護者の就労が叶わなくなったり、児童が保育されなくなるなど危険にさらされる可能性がでてくる。 ・市の責務として廃止することはできない。 ・保育の実施を受けられない児童ができてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 保育所の入退所に関わる事務については保育所運営の中で必ず必要となるものであり、統廃合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・利用者負担金算定や保育所との連絡調整等、受付から入所決定までに相当の時間が必要となる。また正規職員以外の委託等対応は、保護者の市民税等に関わる書類を扱う事務であるため適当でない・最小の人件費で実施しており削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 旧岩瀬地区・大和地区・真壁地区それぞれに設置または、委託施設があり、児童数に比例して、受け入れ体制が整っている。 ・広域入所希望者全員を対象としており、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	保育所の入退所事務については、業務時間の短縮を図るのみでなく、平成20年度の受付から利用者負担金に関わる誓約書の欄を設けたように、受け入れ後の保育がスムーズになるよう適宜改善を行っていくことが望ましい																											
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 → ■ 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																											
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																											
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																											
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○	×																								
	低下		×	×																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 利用者負担金の決定方法を周知させる。内容を広く周知するために、入所案内や市のホームページの内容を充実させる	(6) 事務事業優先度評価結果																											
	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>